

第2号様式（第6－1）

会議開催結果

1	会議の名称	令和5年度第1回富津市廃棄物減量等推進審議会
2	開催日時	令和6年3月15日（金） 13時25分～13時58分
3	開催場所	富津市役所2階 第一委員会室
4	審議等事項	(1) 会長の選出について (2) 新環境センター整備事業の見直しについて (3) その他
5	出席者名	[会 長] 宮崎晴幸 [副会長] 川口泰明 [委 員] 福原敏夫、関努、森田葉子、兔原剛史、大野泰代、 森田房江、吉原徳男、秋元直樹、斎藤昇 [市 長] 高橋恭市 [事務局] 木村市民部長、錦織環境保全課長 江澤課長補佐、鈴木環境衛生係長、播岡主任主事 [関係者] 行政経営アドバイザー 妹尾章正
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7	非公開の理由	(理由)
8	傍聴人数	0人（定員5人）
9	所管課	市民部環境保全課環境衛生係 電話 0439（80）1273

富津市廃棄物減量等推進審議会会議録

発言者	発言内容
鈴木係長	<p>開会（13：25）</p> <p>定刻前ではございますが、全員お揃いになりましたので、始めさせていただきますと思います。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私は本日の会議の進行を務めさせていただきます、事務局市民部環境保全課の鈴木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>審議会に入る前に本日の委員の出席状況をご報告させていただきますと思います。出席人数が11名、欠席人数が4名でございます。したがって、審議会運営規則第5条の規定により、半数以上の出席をいただいておりますので、ご報告申し上げます。</p> <p>なお、会議録作成のため録音させていただきますことをご了承願います。</p> <p>また、本審議会は富津市情報公開条例の公開対象であり、本日の傍聴者はおられませんのでここで報告いたします。</p> <p>なお、会議の進行につきましてはお手元に配付してございます会議次第により進めさせていただきますので、ご了承のほどお願い申し上げます。</p> <p>また、資料は事前に送付させていただいております資料1のみとなっておりますが、ご不備等はありませんでしょうか。</p> <p>それでは、ただいまから令和5年度第1回富津市廃棄物減量等推進審議会を開会します。</p> <p>本日は今年1回目の会議であり、委員の改選等ございましたので委員および事務局職員の紹介をいたします。</p>
錦織課長	<p>（出席委員及び事務局職員紹介）</p>
鈴木係長	<p>続きまして、富津市長高橋恭市からご挨拶を申し上げます。</p>
高橋市長	<p>（市長挨拶）</p>
鈴木係長	<p>それでは、これより議題に入ります。</p> <p>現在、本審議会の会長が空席となっております。</p> <p>そのため、富津市廃棄物減量等推進審議会運営規則第4条第1項お</p>

	よび第2項の規定により、副会長の川口泰明委員に会長職務代理として会議の議長を行っていただきます。
川口議長代理	<p>それでは、会長が選出されるまでの間、私が議長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>では会議次第に沿いまして進めさせていただきます。</p> <p>議題1「会長の選出について」を議題といたします。</p> <p>会長の選出につきましては、富津市廃棄物減量等推進審議会運営規則第2条第2項の規定により、委員の皆様の互選となっております。</p> <p>委員の皆様方から何かご意見がございましたら、お伺いしたいと思います。</p> <p>何かございますでしょうか。</p>
斎藤委員	はい、議長。
川口議長代理	はい、斎藤委員。
斎藤委員	宮崎晴幸委員に会長を務めていただいてはいかがでしょうか。
川口議長代理	<p>ただいま斎藤委員の方から、会長は市議会の宮崎晴幸委員を推薦されるとのことでした。委員の皆様いかがでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
川口議長代理	<p>異議なしということなので、宮崎晴幸委員に会長をお願いしたいと思います。</p> <p>新しい会長が決まりましたので議長代理の職は解かさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
鈴木係長	<p>それでは、宮崎会長につきましては、会長席にお着きいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、宮崎会長からご就任のご挨拶を頂戴したいと思います。</p>
宮崎会長	(会長挨拶)
鈴木係長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、会議の議長は、富津市廃棄物減量等推進審議会運営規則第4条第1項の規定により、会長が務めることと規定されております</p>

	<p>ので、宮崎会長に議長をお願いいたします。</p>
<p>宮崎議長</p>	<p>それでは早速会議を進めさせていただきます。 議題に入る前に入ります前に、会議録署名委員を指名させていただきます と思います。今回は福原委員、そして斎藤委員をお願いいたします。 それでは議題に移ります。議題2「新環境センター整備事業の見直しについて」 でございます。</p>
<p>高橋市長</p>	<p>議長。</p>
<p>宮崎議長</p>	<p>はい、高橋市長。</p>
<p>高橋市長</p>	<p>事務局の説明の前に本件に至った理由につきまして、私からご説明 をさせていただきます。 先ほど冒頭の挨拶でも申し上げました通り、新環境センターの整備 につきましては、本審議会において、委員の皆様からいただいたご意 見を踏まえ、昨年6月に、富津市一般廃棄物処理施設整備基本構想 を策定し、新施設の整備に向けて動き出したところでありました。 しかしながら、昨今の世界的な社会経済情勢等に起因するエネルギ ーや物価の高騰等の影響は、本市におきましてもこれまでの想定をは るかに超えるものであり、計画も含め、このまま予定する全ての事業 をスケジュール通り推し進めることは、後年度に多大な負担を強いる 恐れがあると判断をいたしました。 このことから、令和5年9月に作成した中期収支見込みにおきまし て、令和6年度以降の5年間に計上する事業として、同時期に予定さ れている学校、教育施設整備を優先することとし、今後の本市の財政 状況や社会経済情勢を注視しながら、新環境センターについては、計 画を一時休止するという決断に至りました。 これまで審議会委員の皆様には、市政運営に欠かせない事業として ご説明申し上げてきました以上、非常に心苦しい思いがあるわけですが、 平成27年度の経営改革を教訓に、身の丈に合った財政運営、将来 に向けて持続可能な行政経営に取り組んできたことから、全庁横断的 に協議を重ね、休止事業を継続するための代替案を含め、事業の見直 し、選択を行ったところでございます。 この後、事務局から見直しについての説明を致させますので、お聞 き取りいただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>

錦織課長	議長。
宮崎議長	はい、錦織課長。
錦織課長	<p>それでは、私の方から資料に基づきご説明させていただきます。</p> <p>ただいま、市長から新環境センター整備事業については、本市の財政状況を鑑み、計画を一時、休止するとの決断をした旨の説明があったところでございます。</p> <p>このような状況でございますが、老朽化が著しい現環境センターの現状を踏まえ、改めて、現時点での「今後の対応」について、整理を行いましたので、ご説明をさせていただきます。</p> <p>それでは、配布資料1をご覧ください。</p> <p>最初に、1の「従前の構想における概要」でございます。</p> <p>ここでは、皆様のご意見をいただきながら、令和5年6月に策定した「富津市一般廃棄物処理施設整備基本構想」の方向性について、確認の意味で、再度、整理させていただいております。</p> <p>まず、①としまして、整備候補地は新富地区の富津市クリーンセンター隣接地として検討を進める。</p> <p>②として、資源ごみ（ビン・缶・ペット）を民間委託し、不燃・粗大・直接搬入ごみは新施設で受け入れるケースを基本とし、本市の実情に合った整備内容・処理方式の検討を行う。</p> <p>③として、災害廃棄物の処理も可能となることから、破碎設備の導入を検討する。</p> <p>④として、本市の現状や費用面も考慮し、現実的な選択をするために、より効果的な新設の設備構成を引き続き検討する。</p> <p>⑤として、概算事業費は、2段破碎方式フルスペックの約43.5億円から低速破碎機のための30.9億円と試算。</p> <p>⑥として、事業スケジュールは、令和6年度から基本設計及び各種調査を行い、令和8年度から施設整備建設工事、令和10年度に稼働予定と、構想においては整理をさせていただいたところでございます。</p> <p>次に、2の「中期収支見込みの概要」でございます。</p> <p>ここでは、先ほど、市長が申しあげました令和5年9月に作成しました「中期収支見込み」の考え方について、記載しておりますので、改めて、ご説明させていただきます。</p> <p>1つ目として、昨今の様々な要因による物価高騰の影響を受け、光熱費等の経常経費や普通建設事業費が大幅な増額となる試算となった。</p> <p>2つ目として、物価高騰等に対応するための国庫補助金等の大幅な</p>

増額が見込まれない中、普通建設事業費の財源として、地方債（借金）の発行に頼らざるを得ない状況となり、後年度に義務的経費となる公債費が急激に増加し、将来に向けて持続可能な行政経営が困難になることが危惧される見通しとなった。

これらのことから、新環境センター整備を始めとした普通建設事業は、改めて事業手法の見直しや優先順位について、再検討を行い、事業を選択することで、後年度へ、過大な負担を残さない収支見込みの作成に努めたことにより、本事業については、施設の整備手法や整備時期も含め、見直しすることとなったものでございます。

次に、3の「今後の対応」でございます。

ここでは、老朽化した環境センターの現状と、「今後の対応について」の考え方を示しております。

まず、最初に、新施設の必要性について、検討を行っております。

1つ目として、「現状の施設を補修しながら使用するには限界があり、かつ、その時期はそう遠い未来ではない。」と認識しており、このことから、新施設の建設は、不可避であると考えております。

なお、新施設建設地は、構想の記載どおり、新富地区の富津市クリーンセンター隣接地を候補地とすることが妥当であると考えており、その理由は次の3点でございます。

その理由は、①として、現環境センター所在地は、急傾斜地崩壊危険区域基礎調査予定箇所であり、千葉県による基礎調査後に危険区域の指定がされた場合、千葉県の「廃棄物処理施設の立地等に関する基準（昭和61年4月1日制定）」における立地環境基準に抵触することです。

②として、現環境センターは、昭和49年に建設、昭和51年の稼働開始から47年経過し、老朽化が著しいこと、また、旧耐震基準の建物であり、同所での事業継続には、現有施設の解体が必須であると考えております。

なお、解体費用は、概算ですが、1億5,570万円程度と試算しております。

③として、解体作業は概ね1年程度の期間が必要であり、解体作業中、同所での事業継続は困難であることが想定されるため、他所での事業実施が必須であること。

以上から、新施設建設地は、富津市クリーンセンター隣接地が適していると判断しました。

次に、構想にも記載してありますが、本市の現状や費用面も考慮し、現実的な選択をするため、施設規模・設備・予算面を配慮した新施設の構成を再検討していくこととします。

	<p>一例でございますが、計量機とヤードのみの設置を先行することとし、まずはシンプルな建物を建設し、中・長期的なビジョンで、必要だと判断される破砕機を増設するプラン等、今後、効率的な整備方法を再検討していきたいと考えております。</p> <p>なお、新施設の整備時期につきましては、今後、本市の財政状況を見据える必要はありますが、目標としては、10年以内の整備を目指してまいりたいと考えております。</p> <p>最後となりますが、「当面の対応及び現有施設の維持・保全」でございます。</p> <p>新施設の整備については、10年以内の整備を目指したいと考えておりますが、ごみ処理事業継続のためには、当面、委託事業の見直しや、現環境センターの延命が必要不可欠となります。</p> <p>このことから、現在、環境センターで行っているビン・缶・ペットボトルの資源ごみ及び不燃ごみの選別及び処理業務については、処理設備の老朽化が著しいことから、構想でも示したとおり、資源ごみ等の全量を民間の処理施設に委託することで調整を進めており、移行年度は、現状では、令和7年度を予定としています。</p> <p>なお、現環境センターについては、運営を継続するため、施設や設備の現状をしっかりと把握したなかで、事業に必要な最低限度の設備補修を実施する等、効率的な整備を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>簡単ですが、説明は以上でございます。</p>
宮崎議長	<p>ありがとうございました。</p>
	<p>ただいま事務局から説明をいただきましたが、質疑等はございますでしょうか。</p>
	<p>(質疑無し)</p>
宮崎議長	<p>質疑もないようですのでここで行政経営アドバイザーとして本日も参加いただいております、妹尾様より本議題に関わるコメントをいただきたいと思っております。</p>
妹尾アドバイザー	<p>承知しました。</p>
	<p>私自身、令和元年から約4年間富津市民としてお世話になっておまして、現環境センターには皆様と一緒に見学もさせていただきましたが、自らの引っ越しごみ等の持ち込みでも何度も尋ねさせていただいております、なかなか古い施設でございますので、新富地区に新</p>

しく整備される計画の検討メンバーにアドバイザーとして入れていただき大変楽しみにしていたんですけども、説明がありましたように、財政事情からやむを得ないということで大変残念に思っております。

私は組織のサラリーマンでおりましたけれども、廃棄物処理に関しては30数年、一般廃棄物・産業廃棄物ともにプラントの建設や現場の運営に携わっており、現在もさいたま市の方で類似の施設に勤務しておりますので、その辺の30数年の体験や経験等を踏まえ、3点ほどコメントさせていただければと思います。

まず、現環境センターを約10年動かされるということに関して、1点コメントさせていただければと思います。

廃棄物処理につきましては、言うまでもなく地方自治体の大きな責務の1つでして、いわゆる電気とか水と並ぶような、貴重なインフラ設備かと思えます。

現センターは40数年経過されているということで、現場で長く仕事をしている私の立場からしますと、現場の皆さん、なかなか本当に厳しい環境下で、苦心されているなどと思います。いわゆる粗大ゴミや不燃ゴミを、破碎機なしで処理している施設というのは自治体の施設としては非常に稀な施設ですので、本当に凌がれているなどということではなかなか大変だなと考えております。

資源ゴミを民間委託されるということで、ご負担が少し下がるかと思えますけれども、やはり今後10年程度ですね、施設の廃棄物処理という機能を果たすには、どうしてもリスクが伴うと思えますので、先ほどご説明ありましたように足元の最低限の設備補修っていうのは、当然考えられるかと思えますけれども、年数が経っておりますので、突発的な休止とか自然災害に見舞われますと、設備以外にも建屋や管理の動線、外構等に損傷のリスクがあるかと思えますので、そういう毎日の場合の備えやシミュレーションにつきましては、ぜひ自治体の方でしっかり検討されるべきかと思えます。具体的には、何かあったときの機動的な補修予算の手当ですとか、少し何かあって長期に休止される場合の代替施設のようなところをぜひ詰めておかれるべきではないかなと思っております。

それから2点目は、資源ゴミの民間委託の件でございます。

これは他の自治体でも実施されている事例がございますので、一般的な選択肢の一つかなと思えます。

それで民間委託ということになりますと、民間企業として効率の良い施設で、設備構成や人員配置を考えられますので、うまくすれば効率が上がるかもしれませんが、逆に言いますとどうしても民間企業側の設備投資等が伴いますと、あるときに結構な経費の負担が自治体側

にあるかもしれません。そういう意味では民間委託の契約に際しましては、設備構成等について今までいろいろ検討をされたと思います。あとは資源物の価格についても、昨今、ペットボトルなんかは取り合いになっていまして、貴重な資源ということで、その経済情勢によりますが5万円とか10万円とか、高く引き取られているところもありますので、もう既に担当課の方でいろいろ調査されていると思いますが、その辺も継続されて、契約に際しては慎重にやり取りをされるのがよろしいのではないかなと思う次第でございます。

それから3点目でございますが、新環境センターを10年後までに段階的に整備というご計画のお話がありました。

確かに粗大・不燃ゴミの施設というのは当然ゴミ処理施設の一つですので、環境省の交付金の対象施設ということになります。ただどうしても範囲が限定されますので、破砕機が必須なのでどうしても破砕機を置きますと、土木建設費も含めて一定のご予算というのは必要になってこようかと思えます。

そういう意味で、2段階で整備されるというのは一つの考え方かなと思いますので、国の交付金を2回いただくというのはあまり例がないので、うまくコンサルタント等を活用し、進められるのがよろしいのではないかなと思います。今回例示に上がっておりますようないわゆる当初計量機と保管場というのも、物理的には一つのやり方だと思えますけれども、国の交付金の対象施設というものは、やはりどちらかという機械設備を置く前提で、交付金が運営されていますので、これも年度によって変わりますので、専門家とのご協議がよろしいかと思えますけれども、1期工事で何らかの簡易な設備を置かれるっていうのも、一つのアイデアかなと思います。

昨今、プラスチックにつきましてはまた検討されると思いますが、国の方がいわゆる容器包装プラスチック以外の製品プラスチックについても分別するよという、新しい法律もできたりしておりますので、少し収集の形態とか、あるいはその処理の形態が、変わる可能性があろうかと思うのですが、どうしてもかさばるものですから、ある程度圧縮して梱包するというのがどこかの段階で必要になります。

これは自治体側なのか、民間企業なのか、リサイクル事業者なのか、いろいろ選択肢はありますが、その辺を考えると、少し手軽な設備という意味では、プラスチック圧縮梱包機を1台置かれて、交付金を取られるっていうのが、1期工事としては選択肢の一つかなと思います。いずれにしても、今回延期されるわけですが、逆に十分な検討期間ができるというメリットもございますので、いろんな新しい動きもありますので、その辺の情報をうまくキャッチされて、プラント

	<p>メーカーだけではなく、処理事業者からもいろんな提案を募られて、ぜひ効率的な施設を建設されることをお祈りしたいと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>宮崎議長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、最後に議題3「その他」ですが、委員の皆様から質疑等、何かございますでしょうか。</p> <p>事務局からは何かありますか。</p>
<p>錦織課長</p>	<p>議長。</p>
<p>宮崎議長</p>	<p>はい、錦織課長。</p>
<p>錦織課長</p>	<p>次回の廃棄物減量等推進審議会の開催につきまして、現時点では未定でございます。議題にございました新環境センター整備事業の進捗に合わせ、委員の皆様事前にご連絡を差し上げたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>宮崎議長</p>	<p>それでは以上をもちまして、令和5年度第1回富津市廃棄物減量等推進審議会を閉会といたします。</p> <p>本日は皆様、長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>閉会（13：55）</p>